

# R6年度 アストロキャンプ稲毛東保育園の自己評価

R6 年度

	自己評価の観点	自己評価の視点	評価
I 保育 理念	<b>子どもの最善の利益の考慮</b> ① 子どもの人権の尊重 ② 保育方針・保育目標	○ 子ども一人一人の違いや思いを受け止め、自ら育つ権利を平等に尊重しているか。 ○ 保育方針を基本に、保育所の地域性や、家庭状況などの実態を踏まえ、明日を生きる力と豊かな人間性の基礎を培う目標になっているか。	B 保育理念において、家庭、地域と連携し一人ひとりの子どもの人権尊重を謳い、一人ひとりという意識が職員に根付いている。 一人ひとりの気持ちを大切に保育を遂行。健康で豊かな人間性を培う目標設定
II 子 ど も の 発 達 援 助	<b>1 子どもの福祉を推進することに最もふさわしい生活の場</b> ① 健康・安全で心地よい生活  <b>2 生活と発達の連続性</b> ① 子ども観、発達観の理解と共有 ② 発達過程に応じた保育 ③ 個人差への配慮 ④ 生活の連続性  <b>3 用語と教育の一体的展開</b> ① 主に乳児保育における養護と教育の一体的展開	○ 子どもの生活リズムを大切にし、健康、安全で情緒の安定した生活が出来つ環境を整えているか。 ○ 子どもが自発的、意欲的にかかわれるような環境を構成し、主体的な生活ができる場になっているか。 ○ 子どもは大人によって生命を守られ、愛され、信頼されることにより、情緒が安定するとともに、人への信頼感、自己肯定感が育つ。そのための環境を整えているか。 ○ 目指す子ども像及び発達観を理解し、共有しているか。 ○ 子どもの発達や特性を理解し、発達過程に応じた生活の連続性に配慮した保育をしているか。 ○ 子どもの発達の特性とその道筋を十分理解し、一人一人に応じ、見通しを持った保育をしているか。 ○ 保育時間などの違いに配慮するとともに、家庭との連携を視野に入れた保育をしているか。 ○ 保育士等が子どもを一個の主体として尊重し、その命を守り、情緒の安定を図りつつ乳幼児期にふさわしい経験が積み重ねられていくように援助しているか。 ○ 一人ひとりの発育及び発達状態や健康状態について適切な判断に基づく保健的な対応をしているか。 ○ 一人ひとりの成育歴に留意しつつ、欲求を適切に満たし、特定の保育士が応答的に関わっているか。	B 一人ひとりのリズムを考慮し個人目標作成。 B自分がやりたい遊びを自分で選べるようにいつも同じ場所に玩具があるような環境設定 B 丁寧な保育を実施、一人ひとりを大切に応答的に関わっている B 保育目標に目指す子ども像があり、共有している B 担任を中心に、全職員で子どもとの関係作りをしている B 児童票の記録を活用。課題の共有を実施 B 未満児については連絡帳にて生活リズムを共有 B 一人ひとりの思いを大切に受け止め、生活（遊び）を通しての体験的な学びの援助 B 毎日の健康状態に応じて適切に対応している。 B 緩やかな育児担当制により、特定の保育士が応答的に関わっている。

<p>II 子 ど も の 発 達 援 助</p>	<p>② 主に2, 3歳児の保育における養護と教育の一体的展開</p> <p>③ 主に3, 4, 5歳児の保育における養護と教育の一体的展開</p> <p>④ 保育の実施に関して留意すべき事項</p> <p><b>4 環境を通して行う保育</b></p> <p>① 保育の環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人的環境</li> <li>・ 物的環境</li> <li>・ 空間</li> <li>・ 自然や社会事象等</li> </ul> <p>② 環境の構成・再構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3つの視点をもとに養護・教育の一体性を意識して保育をしているか。</li> <li>○ 探索活動が十分にできるように、事故防止に努めながら活動しやすい環境を整え、全身を使う遊びなど様々な遊びをとりいれているか。</li> <li>○ 自我の発達を促し自己主張を受け止め、子どもの気持ちに沿った保育をしているか</li> <li>○ 子どもの情緒が安定し、自己を十分に発揮した活動を通して、やり遂げる喜びや自信を持つことが出来るように配慮しているか。</li> <li>○ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識して保育しているか。</li> <li>○ 保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めているか。</li> <li>○ 子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自らが周囲の子どもや大人と関わっていくことが出来る環境が整っているか。</li> <li>○ 子どもの活動が豊かに展開されるよう、保育所の設備や環境を整え、保育所の護憲的環境や安全の確保などに努めているか。</li> <li>○ 保育室は、あたたかな親しみとくつろぎの場となるとともに、生き生きと活動できる場となるように配慮しているか。</li> <li>○ 命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな信条や思考力の芽生えを培うことができているか。</li> <li>○ 人、モノ、場等の環境が相互に関連しあい、子どもの生活が豊かなものとなる用計画的に構成し実践、評価したうえで、再構成した環境の中で保育をしているか。</li> <li>○ 子どもの気づき、発送や工夫を大切にしながら、子どもとともに環境の再構成をしているか。</li> </ul>	<p>B 3つの視点を大切に月案を立案し、ねらいを達成している</p> <p>B ヒヤリハット検証を周知した上で、全身運動を取り入れている</p> <p>B子どもの気持ちを大切に受け止め保育している</p> <p>B子どもの気持ちを大切に、行事に向けて自信や達成感を感じられるよう配慮</p> <p>B10の姿を月案に照らし合わせながら保育を計画</p> <p>B保育所児童保育要録を作成し送付</p> <p>B保育士との応答的な関りから、子ども同士の関りにつながるよう環境設定</p> <p>B衛生的な環境整備を行い、安全管理の徹底に努めている</p> <p>B保育園は生活の場であり、豊かな活動が展開されるよう配慮</p> <p>B豊かな自然現象を通じた学びの為、毎日の外遊びを大切にしている</p> <p>B 異年齢での活動を大切に考え、計画的に再構成している</p> <p>B 子ども達の主体的な活動の実現のため、援助を工夫し実施</p>
<p>III 子 育 て 支 援</p>	<p><b>1 家庭との緊密な連携</b></p> <p>① こどもの成長の喜びを共有</p> <p>② 保育内容の説明・応答責任</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人一人の保護者と日常的な情報交換に加え、個人面談等を行っているか。</li> <li>○ 保護者に対し、保育所における子どもの様子や日々の保育の意図などを説明し保護者との相互理解を図るよう努めているか。</li> <li>○ 保護者の考えや提案を積極的に聞き、適切と思われるものについては、保育に取り込むよう努めているか。</li> </ul>	<p>A日々のコミュニケーションを十分にとり、年2回の個人面談を実施している</p> <p>B 行事後や年度末に保護者アンケートを実施し、意見を検討し実施につなげている</p> <p>B 行事後や年度末に保護者アンケートを実施しているが、回収率が意見を検討し実施につなげている</p>

<p style="text-align: center;">III</p> <p style="text-align: center;">子育て支援</p>	<p>③ 子育てに関する相談援助</p> <p>④ 保護者への個別支援</p> <p style="text-align: center;"><b>2 地域における子育て支援</b></p> <p>① 保育所機能の開放</p> <p>② 関係機関との連携</p> <p>③ 情報提供</p>	<p>○ 保護者の気持ちを受け止め、相談・援助に当たっては相互の信頼関係を基本に各家庭の実態を踏まえ、保護者自身の主体性、自己決定を尊重しているか。</p> <p>○ 保護者と子どもの状況(障害、発達上の課題、外国籍等を含む)を踏まえ、組織として子どもや家庭を援助する体制づくりを行っているか。</p> <p>○ 保護者に育児不安等が見られる場合には、子どもの最善の利益を重視した個別の支援を行うよう努めているか。</p> <p>○ 子育て家庭への施設及び設備の開放、体験保育など保育所昨日の開放をしているか。</p> <p>○ 育児相談や交流の場の提供など、地域の子育て家庭の支援を行っているか。</p> <p>○ 地域の関係機関、団体等との積極的連携及び協働し、子育て支援に関わる地域の人材の積極的な活用を図るよう努めているか。</p> <p>○ 地域における保育に関する情報を常に把握し、子育て支援に関する情報を保護者に適切に提供しているか。</p>	<p>B 相談・援助の際は、保護者自身が自己決定できるように提案、情報提供をしている。</p> <p>B 専門機関との連携を図り、保護者に寄り添いつつ適宜情報提供に努めている。</p> <p>A 保護者の様子を見て面談の時間を作ったり、要望により、適切に対応</p> <p>C 設備環境的に地域の子育て家庭への開放は難しい。</p> <p>B 夕涼み会では、一時預かりを利用して家庭に声掛けすることで、参加につながった。</p> <p>B 稲毛区健康課と連携し、児童の事保護者の事を共有し、より良い支援につなげた。</p> <p>B 園だより、保健だよりを通して情報提供している</p>
<p style="text-align: center;">IV</p> <p style="text-align: center;">保育を支える組織的基盤</p>	<p style="text-align: center;"><b>1 健康及び安全の実施体制</b></p> <p>① 健康の保持及び増進</p> <p>② 安全・衛生管理</p>	<p>○ 子どもの健康に関する保健計画を作成し、全職員がそのねらいや内容を明確にしなが一人一人の健康保持及び増進に努めているか。</p> <p>○ 登降所時や保育中の子どもの健康管理はマニュアルがあり、子ども一人一人の健康状態並びに発育、発達状態を把握し、健康管理を実施しているか。</p> <p>○ 入所児童の健康診断の結果について保護者や職員に周知するとともに日々の保育に反映させているか。</p> <p>○ 感染症の予防に努め、必要に応じてその情報や対策を保護者に知らせているか。</p> <p>○ アレルギー疾患を持つ子どもの状況に応じて適切な対応を行っているか。</p> <p>○ 疾病の疑いや障害、不適切な養育などが疑われる場合、保護者や嘱託医などの関係機関と連携し、適切な対応をしているか。</p> <p>○ 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具などの衛生管理に努めているか。</p>	<p>B 保健委員が年間保健計画を作成、実行している。</p> <p>B マニュアルは千葉市看護師マニュアルを使用している</p> <p>B 健康診断、歯科検診の結果は職員と保護者に周知し、保育に反映させている</p> <p>B 手洗いうがい換気消毒を随時行い、園内の感染症については保育アプリにて都度配信している</p> <p>B 生活管理指導票に基づき対応している</p> <p>A 疾病の疑いには保護者と連絡を取り対応。</p> <p>B 温湿度計、空気清浄機、サーキュレーターを配置、換気にも留意し最適な環境になるよう調節している。</p>

IV 保育を支える組織的基盤	③ 災害への備え	○ 衛生面や安全性に配慮し、給食をしているか。 ○ 子ども及び職員の衛生管理を適切に実施しているか。 ○ 事故発生に備え、施設内外の危険個所の点検や訓練を実施し、安全対策の為の体制が周知、徹底されているか。 ○ 定期的に防災設備、避難経路の点検を行い、安全環境の設備に努めているか。 ○ 災害発生時に子どもの引き渡しを円滑に行うため、日ごろから保護者と連絡体制や引き渡し方法等について確認しているか。	B 日々衛生、安全に配慮している B 手洗いうがいの徹底、配膳時はマスク、エプロン、三角巾着用 B 安全点検表に基づき毎日点検。安全対策の為の体制を各出入口に掲示し、保護者に周知している A 防災設備は管理会社において定期的に点検。防火管理者が毎日の点検を実施 A 災害発生時の訓練として引き渡し訓練や災害伝言ダイヤルの訓練を行っている。
	④ 家庭や保健・医療機関との連携	○ 地域の関係機関と日常的に連携を図り、必要な協力が得られるよう努めているか。 ○ 健康で安全な子どもの生活確立のために保護者と常に密接な連携を図り、家庭での子どもの生活実態把握など情報収集しているか。	B 子ども家庭課等、必要な時に連絡を取り、連携している。 B 受け入れ時には家庭での様子、引き渡し時は園での様子を伝え情報共有している
	⑤ 食育の推進	○ こどもの健康と安全、食生活や食育に関する活動については保育所から家庭に情報提供をしているか。 ○ 保育所における食育は、健康な生活の基本としての「職を育む力」の育成であることを全職員が理解して進めているか。 ○ 食育計画に基づき保育の実践・評価を行い、改善を図っているか。	B 保健日より、給食だよりにて情報提供している B 食育年間計画が作成され、保護者や職員にも周知し実行している。 B 保護者に食事アンケートを実施し、状況把握。給食会議において改善を図る
	<b>2 職員の資質向上</b>		
	① 保育の計画	○ 0歳から6歳まで一貫性を持った保育課程を作成しているか。 ○ 保育の計画が保育の基本方針に基づいているか。 ○ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を見直しているか。	B 全体の計画では全ての月齢において一貫性を持った計画で、年間計画や月案、週案にも保育の方針に基づき見直している。 B 年間指導計画については3ヶ月毎に振り返り、毎月の月案に生かしている
	② 保育士等の自己評価	○ 保育士等は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めているか。	B 毎日のドキュメンテーションや週案、月案にて振り返り、次につなげている
	③ 保育所の自己評価	○ 保育の計画の展開や保育士等の自己評価を踏まえ、定期的に保育所の自己評価を行い、改善を図っているか。	B 年間指導計画から、今年度の保育について振り返り、次年度の保育に生かしている
	④ 研修	○ 学びあう環境を醸成していくことにより、保育所の活性化を図っているか。 ○ 研修の成果を日常の保育に活かし、乳幼児の育ちに反映させているか。 ○ 全体的な計画につながる研修をしているか。	B 内部研修やMTを通して保育士が主体的に保育していく環境を目指している B 研修からの実践を保育に反映させている c 職員が同じ方向を向いて保育を実施出来るよう、研修を実施しているが、職員の意識の中にも全体的な計画が意識されるには工夫が必要。

<p><b>3 運営・管理・社会的責任</b></p> <p>① 法令等の遵守</p> <p>② 個人情報の取り扱いと苦情解決の責任</p> <p>③ 施設長の責務</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保育所運営管理に必要な法令を理解し、遵守しているか。</li> <li>○ 保育所の子どもの人権が守られているか。</li> <li>○ 個人情報について、適切な取り扱いをしているか。</li> <li>○ 苦情解決の仕組みを保護者等に周知する取り組みが行われ、機能しているか。</li> <li>○ 利用者からの苦情・要望に対して迅速に対応しているか。</li> <li>○ 保育所の保育理念及び基本方針は明文化しているか。</li> <li>○ 保育理念や基本方針は職員、保護者、関係者に周知しているか。</li> <li>○ 保護者や地域に対して、保育を理解してもらうための説明責任を果たしているか。</li> <li>○ 所内研修を充実させるとともに外部研修への参加の機会を確保し、組織として保育の質の向上を図っているか。</li> <li>○ 職務内容や経験に合わせた人材育成をしているか。</li> <li>○ 職員のメンタルケアを日ごろから意識して行っているか。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>B</b></p> <p>B 保育所運営に必要な全ての法令を理解し遵守するため、役員に学識経験者を迎え入れた体制としている。子どもの人権を守ることは、経営理念であり、遵守している。個人情報については関連法令に基づき的確に対応。苦情解決制度については、入園のしおりに記載し、出入口にも掲示をしている。利用者からの苦情・要望については状況に応じ適切に対応。園の理念方針は明文化しており職員、保護者、関係者に周知。法人の職員数の増加により、経験年数での内部研修を実施。研修の再開もあり、受講職員が増え、実践に生かし質の向上につなげている。職員面談を実施しメンタルのケアにも対応している。</p>
--	--	--

<評価の基準>

A：大変良い    B：良い    C：一部検討を要する    D：改善を要する